



6/13,14の1000分特講では普段はあまりやらない授業をプロジェクターを使って。2日間で17時間近く。徹底

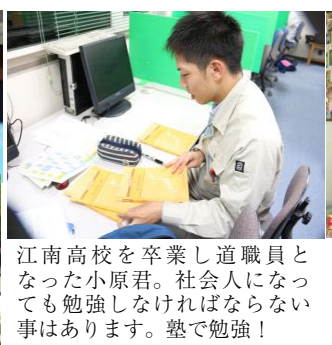


してテスト範囲の勉強です。みんないつもより真剣に取り組みます。シャープを持つ指が腫れるくらい文字を書きます。



村形君、成瀬さんから差入を頂きました。

6月から麦茶を用意しました。根室の岸部先生から差入。中体連、富原の野球を。



富原の運動会で菅原君と成瀬さん  
1年藤田君、3年中野君の柔道

野田君、トヨタの野  
6期生、打ち合  
の岩君、の時に  
いつも、澤して  
江南高校を卒業し道職員となつても勉強しなければならぬ事があります。塾で勉強!

★一回目のテストが終わって・・・★  
27年度、一回目のテストがほとんどの中学校、高校で終わりました。(阿寒中は71)  
一〇〇分特講に、参加した人もしなかった人も結果が出た人も出なかった人もしっかりと分析して次のテストに向かうことが大切です。  
最近、目につくのは、普段の学習では出来ていたのにテストではできなかったり、ミスをしてしまったりする人が多いことです。昔はそんなことはほとんどありませんでした。何が原因なのかはよく分かりませんが、一生懸命やっているように見えたり、時間だけが長いのでは結果には出ません。  
あつという間に1年の半分が終わり、後半に入りました。

中1、中2、高1、高2生は学習の内容が難しくなってくるので復習は絶対必要です。大事なものはテストではなく日頃の取り組みです。それは基本をしっかりマスターすることです。  
自分で、ここは大丈夫なのか、そうでないのか確認しながら勉強しないと、ただ時間を費やし、やっただけになってしまったりテストで結果を出せないことになりがちです。覚えなければならぬ事は必ず覚えるまで繰り返し勉強すること。最近の生徒はそれが出来ていないように見えます。  
中3生は高校受験まで8ヶ月です。夏休み後の9月、10月、11月のA、B、Cテスト、そして志望校に向かって今からしっかりと取り組みましょう。  
裏面の私の嫌いなAKB、でもこの高橋みなみのスピーチ文を読んだら皆まんげれと思えます!

★18歳選挙権、政治変えるか！政党、取り込み急ぐ 大学に党支部検討、学校で講義★  
与野党は若年層の取り込みを急いでいる。  
自民党は青年局を中心に全国の大学に党支部設置を検討している。米共和党などの取り組みを参考にすると、党本部は学生との窓口となる担当役員を置くよう各都道府県連に指示している。  
民主党は幹部が大学や高校を訪れ、学生と対話する「出前講座」を拡大したいとしている。岡田克也代表は今月下旬に名古屋市の東海高校を訪れる。維新の党は幹部と学生の対話の場を設ける。  
各党はソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)を使った情報発信の重要性が増すとみる。ネットを使った選挙活動は2013年参院選から解禁されたが、共産党などを除くと各党が期待した集票効果は得られなかった。しかし、18、19歳の政治参加をきっかけに状況が変化するかもしれない。自民党は各陣営に配るネット選挙マニュアルを充実させる。  
若年層を取り込みたいとわかに動き出した各党だが、無党派層を最優先しているわけではない。選挙戦術はあくまで「組織」だ。改正公選法の成立直後、自民党本部では茂木敏充選挙対策委員長が日本医師会の横倉義武会長と来夏参院選に向けて打ち合わせをした。  
昨年、映画「永遠の0」を観て感動した。しかし、先日の自民党の若手議員の集まりの中での原作者、百田直樹の「沖縄の新聞2誌は潰せ」という発言や、出席議員からの、安部法案を批判する報道に「マスコミをこらしめるには広告料収入をなくせばいい。文化人が経団連に働き掛けてほしい」との声など、もはや日本という国の何かが完全に壊れているとしか言いようが無いくらいおかしい。  
大多数の憲法学者が安全保障関連法案は「違憲」であるとしているにもかかわらず、首相の安倍晋三は、無理やり法案を通そうとしている。  
憲法は、もともと時の政権が勝手なことをすることを防ぐためにある。憲法改正を国民に問えば済む話である。  
日本の将来を担う若者は、自分たちの未来も今まで通りの平和な国であることを望むなら、しっかりと考え、「18歳選挙権」を確実に行使してほしい。

30日には、江南高校でも3年生がこれに関する特別授業を行った。みんなも18歳はすぐ目の前です。自分勝手に、だめな大人が多くなった日本の社会を変えられるのは自分たちだという意識を持ち、日頃から色々なことに関心をもち、考えること。そして「選挙権を行使すること」が自分たちの生活や人生を守ることに繋がります。  
★夏期講座は28日からスタート★  
今年も7月29日から夏期講座がスタートします。1、2年生は一日3時間、3年生は4時間が基本です。時間をかけて復習、予習ができます。目的意識をしっかりと持って取り組むことが次に繋がります。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
			★夏期講座スタート★	夏期講座準備休み	休塾	高専オープンキャンパス						休塾							休塾			●桜中2年宿研(10日)			●附属中3年宿研(9日)					★阿寒中・桜が丘中定期テスト		

携帯電話の持込禁止  
携帯電話の持込は禁止。  
連絡は塾の電話を使用して下さい。

## 7月の予定



『努力は必ず報われるとは限らない。そんなのわかっています。でもね...』

6月6日に行われた「第7回 AKB48 選抜総選挙」。4位に入った高橋みなみのスーチの全文を紹介する。

まず、みなさん本当に、ありがとうございました。私が AKB に入ってから、今年で 10 年が経ちます。7 回目の総選挙、最後の総選挙でした。

1 期生としてメンバーとして入ってきて、たくさんのメンバーの卒業を見送って

きました。いろんな葛藤や、いろんな思いがありました。そして、私は、入って 1 年ぐらいの時にあることに気づきました。「私はこのグループでは、1 番にはなれない」

ということです。

同期には前田敦子がいました。次の期には大島優子がいました。みんなすごくて、カリスマ性あって、絶対的人気があって。

私は歌手になりたいくて芸能界を目指しました。たくさんオーディションに落ちました。そして受かったのが AKB48 でした。

歌手になりたいけど、アイドルになりました。カワイイとか、アイドルとか全然分からなくて。どうすれば人気ができるのかも分からなくて。でも、このグループがすごく好きになったから、すごく頑張りたいなって思って。気付いたらキャプテンになって、総監督になっていました。そして、総選挙があって。「私なんか、1 位になりたいなんて言っちゃいけない」って思いました。

グループが好きだからこそ、グループの先を見ました。「この人がセンターになったほうがいいな」「この人が次 1 位になったらいいんじゃないか」自分のことなんてどうでもよかったんですけど…。でも、きっとここにいるメンバーみんなが思っていることを、私も一緒に思っています。

「1 位になりたいって、言ってみたいな」ってことです。私は最後の総選挙で初めて「1 位になりたい」と言いました。確かに、目標としていた順位には届かなかったし、ここまで呼ばれなかったから、1 位になろうって思ったけど。

でもね、今、本当に清々しいです。1 位になりたいって言って、ファンのみなさんと一緒に、ひとつの目標に向かって頑張ったことがとても嬉しいです。とても幸せです。

ここに立ったら何を言おうかとすごく考えていました。何を言うのが正解なのか。最後の総選挙で私は、みんなに何を残せるのだろうか。なので、ここからは、是非メンバーに聞いてもらいたいなと思います。

私は、メンバーに残したい言葉があります。多分みんな、いろんな活動をしていて、「悔しいなあ」とか「頑張っても、100 頑張っても 1 ぐらいしか評価されないなあ」って、たくさん矛盾を感じていると思います。でもね、人生というのはね、きっと「矛盾と闘うもの」なんだと思います。色々思うことがあると思う。

でも、頑張らなきゃいけない時っていうのがあるし。頑張らなきゃいけないときっていうのは、一瞬ではないということを、みんなに覚えておいてほしいなと思います。

272 人、今回立候補しました。呼ばれたのは 80 人でした。呼ばれなかったメンバーは、では、頑張っていなかったのか。違います。

みんな頑張っています。劇場公演に立ち続け、学業を両立して頑張って、自分のやらなきゃいけないことと一緒に頑張っているんです。でも、ここに立てるのは 80 人なんです。

だからきっと、AKB グループにいればいるほど、頑張りがわからなくなると思います。どう頑張ったら選抜に入れるのか。どう頑張ったらテレビに出れるのか。どう頑張ったら人気ができるのか。みんな悩むと思うんです。

でもね、未来は今なんです。今を頑張らないと、未来はないということ。

頑張りが続けることが、難しいことだって、すごくわかっています。でも、頑張らないと始まらないんだってことをみんなには忘れないで欲しいんです。

私は毎年、「努力は必ず報われると、私、高橋みなみは、人生をもって証明します」と言ってきました。「努力は必ず報われるとは限らない」。そんなのわかっています。でもね、私は思います。頑張っている人が報われて欲しい。

だから、みんな目標があると思うし夢があると思うんだけど、その頑張りがいつ報われるのかいつ評価されるのかとかわからないんだよ。

わからない道を歩き続けなきゃいけないの。きつけどさ、誰も見ていないとか思わないで欲しいんです。絶対ね、ファンの人は見てくれる。

これだけは、私は AKB 人生で一番言い切れることです。だから、あきらめないでね。

松村がまさか私の名言を言ってくれるとは思わなかったんですけど。そうね。

ネタにされるよね。キレイ事だもんね。

でもね。今年も、卒業してからも、言わせてもらいます。最後なので。まあよく、「アコースティック・バージョン」とか麻里子様にいじられたりしたんだけど。

これが、高橋みなみ・総選挙ラストバージョンです。

みなさん、一緒に言ってくれますか？いきます。せーの！

「努力は必ず報われる」と、私、高橋みなみは、これからも人生をもって証明します。ありがとうございました。

## ■ 教育最新情報 ■

### 1) 小中の区切り柔軟に、義務教育、一貫校を制度化、改正法成立

小学校と中学校の 9 年間の義務教育を一貫して行う小中一貫校を制度化する改正学校教育法が 17 日、参院本会議で可決、成立した。小中学校と同じく、同法第 1 条で学校に位置付け、名称は「義務教育学校」とする。2016 年 4 月から施行する。

義務教育学校は地域の実情に応じ、学年の区切りを「4・3・2」「5・4」など、柔軟に変更できる。学習指導要領で定めた学年の範囲を超えて、前倒しで授業をするには特例申請が必要だが、文部科学省は省令を改正して、義務教育学校については申請を不要にし、弾力的なカリキュラムを可能とする方針。

校長は 1 人で、教員は原則として小中両方の免許が必要。校舎は離れていても、一体でも設置できる。

従来の「6・3」制は、中学校に進学した際にいじめや不登校が増える「中 1 ギャップ」や、子供の発達の早期化で、現状の学年の区切りでは対応できていない点などが課題に挙げられていた。

これらの課題解決や、学力の向上などのために、一部の自治体が既に小中一貫教育を実施しており、制度化で一貫教育の浸透を図る狙いがある。小中一貫校の制度化は、政府の教育再生実行会議が提言し、昨年 12 月に中教審が答申していた。

#### 改正学校教育法の骨子

●義務教育 9 年間を一貫して行う「義務教育学校」を新設 ●学年の区切りは「6・3」に限らず、「5・4」「4・3・2」も可能に ●校長は 1 人、教員は原則小中学校両方の免許が必要 ●授業内容の前倒しを国に申請せずにできる

### 2) 高校基礎テスト、国数英で、大学入試改革、

#### 評価は 10 段階以上、検定料数千円、文科省検討

大学入試改革の柱の一つで、高校段階の基礎学力の定着度を測る目的で 2019 年度に導入される「高等学校基礎学力テスト（仮称）」（基礎学力テスト）について、文部科学省が対象教科を国語、数学、英語とし、成績評価は 10 段階以上で表示する形を検討していることが 12 日、分かった。検定料は 1 回当たり数千円とし、低所得層向けの支援策も検討するとしている。

中央教育審議会（中教審）は昨年、現行の大学入試センター試験に代わる「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」（学力評価テスト）を 20 年度から、高校生が自分の学習の到達度を確認できる基礎学力テストを 19 年度から、それぞれ導入することを答申していた。

文科省は基礎学力テストの対象教科を国語、数学、英語とする方向で検討。3 教科の中でも全生徒が共通で学ぶ範囲の到達度をみるため、国語は「国語総合」、数学は「数学 I」、英語は「コミュニケーション英語 I」で履修する範囲から出題する。作問に当たっては高校教員の参画も検討する。

受験するかどうかは生徒の希望によるとし、学校単位での参加も可能とする。高校 2、3 年の夏と秋の年 2 回の受験を想定。結果を高校での指導改善に生かすほか、高 3 時の結果を参考資料として推薦入試などの際の調査書に記載することも検討するとした。

学力評価テストについては記述式に加え、選択式ながら思考力を問う新たな問題の出題を目指す。さらに現在中教審で議論し、22 年度以降に実施する高校の次期学習指導要領に対応して、24 年度以降のテストでは数学と理科を合わせた新科目などからの出題を検討。選抜性の高い難関大学などが入試として活用できるよう、難易度の高い問題も出題するとした。

文科省は大学入試改革の具体策を議論する「高大接続システム改革会議」を今年 2 月に設置。今夏に中間まとめを出し、年内に最終報告をまとめる予定。

#### 文部科学省が検討する「高等学校基礎学力テスト（仮称）」の骨格

●「国語総合」「数学 I」「コミュニケーション英語 I」について学習の到達度を確認 ●高校 2、3 年生が夏・秋に年 2 回受験可能 ●検定料は 1 回あたり数千円。低所得層向け支援策も検討 ●成績は 10 段階以上で評価